

富山県発明とくふう展内容説明書 (審査・展示用)

(第55回)

(1) 企業の部 (2) 一般の部

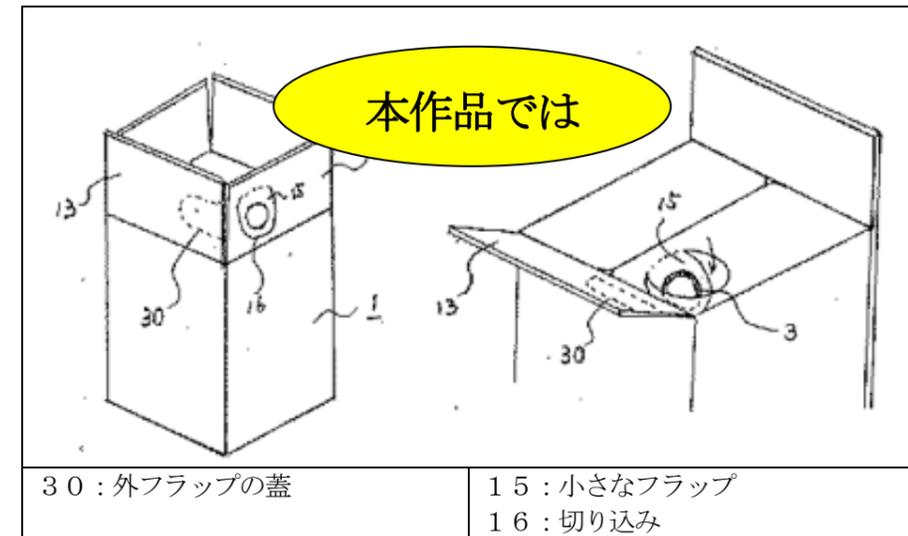
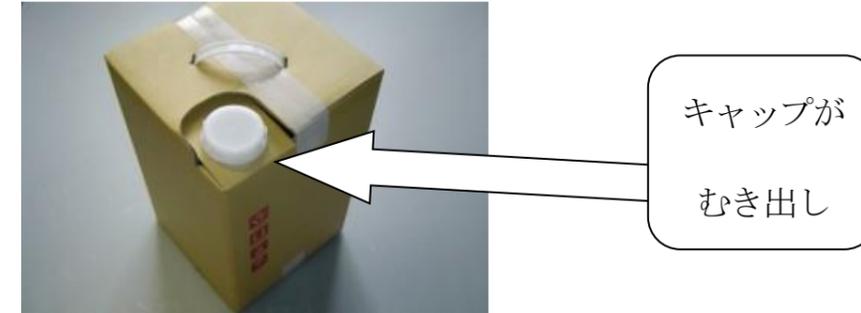
受付
番号 **69**

ふりがな	そそぎだしぐちがしゅうのうでできるえきたいようき			
作品の名称	注ぎ出し口が収納できる液体容器			
ふりがな	じゃばんぱつかぶしきかいしゃ	ふりがな	ながた ひろやす	
会社名	ジャパンパック株式会社	発明者名	長田 宏泰 他1名	
特許・実用・意匠の出願状況	<input type="checkbox"/> 未出願 <input checked="" type="checkbox"/> 出願済み	出願・公開番号 特願 2012-249200	登録番号	外国特許他
特徴と要点 (必ずご記入下さい)				
液体を輸送する容器として、現在従来一斗缶やペール缶、ポリ容器が主に使用されている。それらの代用となる容器として、弊社では環境に優しいリサイクル容器として、外側に段ボール、内側に内袋で組み合わせ、更に2つを内部で接着させて一体化し、箱を組み立てると内袋が開き、そのまま充填できる液体輸送容器「Nパック」を展開している。しかし、注ぎ出し口となるスパウト部分がケースの外に出ていて、ユーザーより、出荷後の内容物へのイタズラ等が懸念されるため、注ぎ出し口が箱の中に収納されている形態の提案を依頼され、開発に至った。				
構造としては、段ボールの内フラップ部に注ぎ出し口をセットし、その回りをカットしておくことで、小さなフラップを成形でき、注ぎ出し口を斜めに倒して内部に収納する事ができる。その上から外フラップを覆い、テープ留めして出荷することになる。内容物を出す際は、使用時にキャップをすぐに引き出せるように、上部に予め蓋がカットされている。蓋もブラブラして注ぎ出しに支障がないよう軽く固定しておく事ができる。フランジがセットしてある小さなフラップを引き出すと、スパウトが箱上面で安定し、内容物を注ぎ出す事ができる。また、廃棄時も段ボールと内袋は容易に分離でき、段ボールはリサイクルできる、環境に優しい容器となっている。				

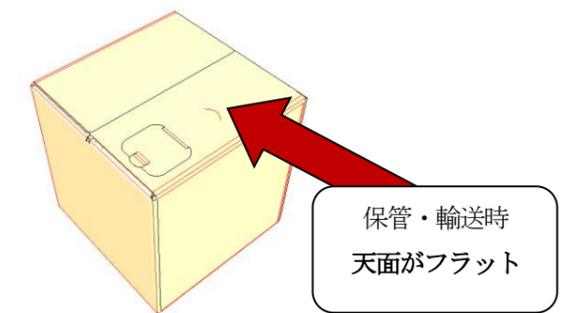
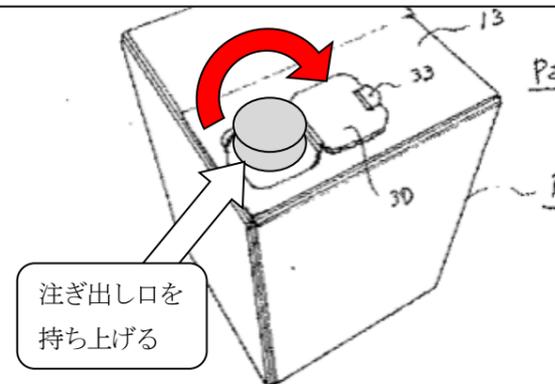
略図、図面、写真等で、簡単に特徴を記入して下さい。(※太枠内でご記入ください)

弊社製品「Nパック」

※段ボールと内部で内袋がセットされており、充填時の作業性もよく環境にも優しい容器であり、好評であるが、キャップを締めたあと、注ぎ出し口がむき出しになっていて、ユーザーからの出荷後の心配の懸念があった。



蓋(30)を持ち上げて、180度曲げ、33の箇所にある(型の切り込みに押し込むことで蓋がぶらぶらしない)



使用時、保管時のみ蓋を持ち上げて注ぎ出し口から出すため、イタズラ防止になるとともに、使用時以外は天面がフラットな状態であることから、段積みも可能であり、積載効率も上がる。

記載注意事項

1. 審査時は、この説明書が添付資料となりますので記載が不明確な場合は審査にもれることがあります。
2. 従来のも(或いは方法)に比し、どこを(何を)どのように発明・工夫したか、要点を判り易く、図を用いた方が判り易い場合は図面(略図でよい)でご説明下さい。
3. 改良くふう箇所が多くある場合、要点をしぼってご記入願います。